



学校だより ほなみ 穂 立

平成29年12月15日
新発田市立豊浦中学校
第9号



いじめ見逃しゼロスクール集会 グループ討議の様子

「いじめ見逃しゼロスクール集会」実施

学区の小学校6年生と中学生が一緒になって、いじめのない学校を目指す「いじめ見逃しゼロスクール集会」を11月29日（木）に開催しました。



小学校6年生と中学校1～3年生、地域の方が25のグループに分かれ、生徒会が製作した「いじり」に関するVTRを見た後、「いじりはいじめにつながるか？」についてグループ討議を行いました。

今回は丸い形の色模造紙に意見を出し合い、それを見ながら討議を行いました。丸い紙を丸く囲んで意見を出し合う姿は豊浦地区の小中学生の仲の良さをそのまま表しているかのようで、素晴らしいものでした。

討議の後、いくつかのグループが発表を行い、

最後は、全員で写真を撮ったり、「じゃんけんゲーム」を行ったりして絆を深め、充実したスクール集会となりました。

集会後、教室で一人一人が「いじめ見逃しゼロ宣言」を書き、廊下に掲示しました。



- 自分の言葉づかいを振り返り、傷つけるような事を言わないように、人の気持ちを考えて行動するよう心がけます。
- 自分の嫌なことは他の人にはしません。
- 自分の言動を客観的に見て、相手を傷つけないようにします。また、グループの中での「いじり」がエスカレートする事の無いよう、やりすぎだと感じれば、しっかりと注意します。」

これからも、みんなで考え、みんなで協力していじめのない学校を作っていきますよう。

中高生 読解力ピンチ！？ 教科書レベルの文章、理解できず

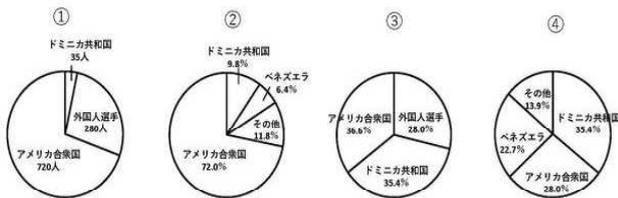
11月7日付けの朝日新聞に、上記の見出しの記事が掲載されていました。

国立情報科学研究所の新井紀子教授らが行った「リーディングスキルテスト」という調査の結果についての記事です。「リーディングスキルテスト」は中高校生が教科書の内容をきちんと理解しているかを調べる目的で、昨年度から今年度にかけて、全国の24,000人の中高校生を対象に行った調査です。問題の一例を紹介します。

問題 1

下記の文を読み、メジャーリーグ選手の出身国の内訳を表す国として適当なものすべてを選びなさい。

メジャーリーグ選手のうち28%はアメリカ合衆国以外の出身の選手であるが、その出身国を見ると、ドミニカ共和国が最も多くおよそ35%である。



問題 2

以下の文を読んでください。

幕府は、1639年、ポルトガル人を追放し、大名には沿岸の警備を命じた。

上記の文が表す内容と、下記の文が表す内容は同じですか。それとも異なりますか。

1639年、ポルトガル人は追放され、幕府は大名から沿岸の警備を命じられた。

問題1に正解した中学生は12%、問題2に正解した中学生は58%という結果から、「中学校卒業までに中学の教科書が読めるようにすることが最重要課題」と新井教授は述べています。

同じ問題を豊浦中の生徒で試したところ、問題1の正解者が38%、問題2の正解者が88%でした。全国の調査結果よりは大幅に上まわっていますが、問題1の正解率が低いことと、学年による正解率に大きな差があることがわかりました。

新井教授はAI（人工知能）の研究者で「ロボットは東大に合格できるか」というプロジェ

クトのリーダーです。「東ロボくん」と呼ばれるこのプロジェクトのAIはかなりの大学の合格レベルを上回ったものの、2016年に東京大学合格は実現不可能という結論に至りました。その理由は、AIは「文の意味を読み取ることが苦手」ということです。そのため、英語や国語など、文の意味を正しく読み取って答える入試問題の正答率が低かったのです。

これからはAIの時代で多くの職業がAIに取って代わられると言われていますが、文を正しく読み取るとは人間の知能の方が勝っているのです。

しかし、「リーディングテスト」の結果、中高校生は、AIに勝るはずの読み取りが不十分と結論づけられています。全国調査の結果に比べると、豊浦中学校の生徒は好成績を収めていますが、油断はできません。読書の時間を増やしたり、線を引いたり、図にまとめてみたりするなど、これまで以上に文を正しく読めるような力を高めていく必要があります。授業での取組はもちろんですが、家でも読書をしたり、文を書いたりする習慣を身に付けていきましょう。

生徒会役員が決まりました

12月7日（木）に生徒会新役員の立会演説会と投票が行われました。生徒会長候補2名、男子副会長候補2名、女子副会長候補1名、書記局長候補1名が堂々とした立派な演説を行いました。投票の結果、以下の人たちが平成30年度を担う新役員に決まりました。

＜平成30年度生徒会役員＞

会長	渡邊	さん
副会長	野崎	さん
	長谷川	さん
書記長	石山	さん

今年度の生徒会は「新たな扉を開け！」のスローガンのもと、様々な扉を開いてくれました。その伝統を引き継ぎ、更に素晴らしい生徒会を創り上げてくれることを楽しみにしています。

